2006年 期報(1~6月)



表1:感染患者数/入院数(率) 表2:感染症発症回数:PD x 1,000 表3:起炎菌別感染症数 表4:耐性:感性別出生体重別感染数

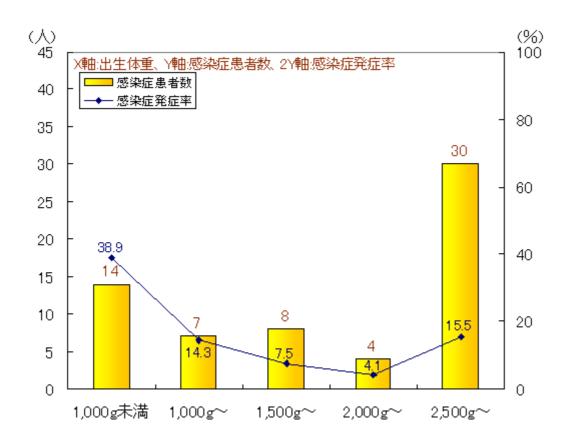
参加施設数	5
対象患者数	485

nexf 🗘

## 表1:感染患者数/入院数(率)

**JANIS** 院内感象対策サーベイラン

[TOP] [1] [2] [3] [4]



	1,000g未満	1,000g ~	1,500g ~	2,000g ~	2,500g ~	合計
入院数	36	49	106	97	194	482
感染症患者数	14	7	8	4	30	63
感染症発症率	38.9%	14.3%	7.5%	4.1%	15.5%	13.1%

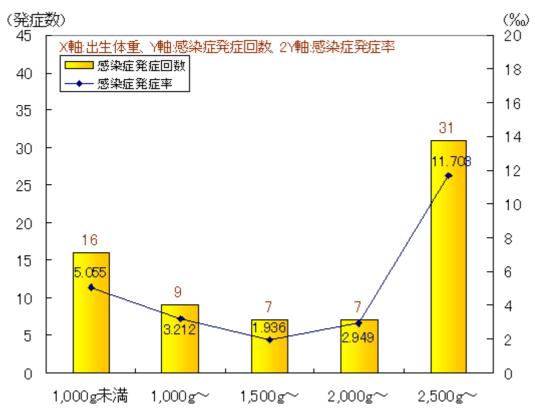
項目	内容
対象	NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。
入院数	NICUに入院した患者数。
感染症患者数	感染症と判断された患者数。
感染症発症率	感染症患者数÷入院数×100(%)

mext+

# 2007/03/15 JANIS 院内感染対策サーベイランス NIIC I 部門

### 表2:感染症発症回数 ÷ PD × 1,000

[TOP] [1] [2] [3] [4]



PD:入院日数合計

	1,000g未満	1,000g ~	1,500g ~	2,000g ~	2,500g ~	合計
PD	3165	2802	3616	2374	2649	14606
感染症発症回数	16	9	7	7	31	70
感染症発症率	5.055‰	3.212‰	1.936‰	2.949‰	11.703‰	4.793‰

項目	内容
対象	NICUに入院し、退院した患者。出生体重の不明な患者は除く。
PD	入院日、退院日をそれぞれ1日としたのべ入院日数。
感染症発症回数	感染症と判断された症例数。
感染症発症率	感染症発症回数÷PD×1,000

<br/>

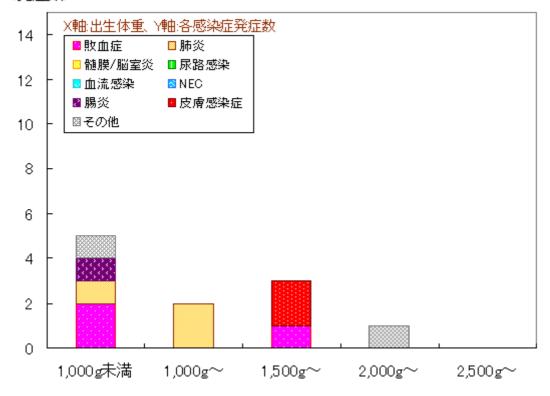
nex#🗘

## 表3:起炎菌別感染症数

[TOP] [1] [2] [3] [4]

#### **MRSA**

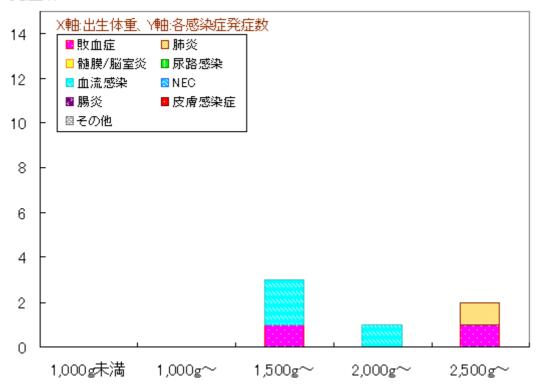
#### (発症数)



MRSA	1,000g未満	1,000g ~	1,500g ~	2,000g ~	2,500g ~	合計
敗血症	2	0	1	0	0	3
肺炎	1	2	0	0	0	3
髄膜/脳室炎	0	0	0	0	0	0
尿路感染	0	0	0	0	0	0
血流感染	0	0	0	0	0	0
NEC	0	0	0	0	0	0
腸炎	1	0	0	0	0	1
カンジダ	0	0	0	0	0	0
皮膚感染症	0	0	2	0	0	2
その他	1	0	0	1	0	2
合計	5	2	3	1	0	11

#### **CNS**

#### (発症数)



CNS	1,000g未満	1,000g ~	1,500g ~	2,000g ~	2,500g ~	合計
敗血症	0	0	1	0	1	2
肺炎	0	0	0	0	1	1
髄膜/脳室炎	0	0	0	0	0	0
尿路感染	0	0	0	0	0	0
血流感染	0	0	2	1	0	3
NEC	0	0	0	0	0	0
腸炎	0	0	0	0	0	0
カンジダ	0	0	0	0	0	0
皮膚感染症	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	3	1	2	6

項目	内容
対象	NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。
各症状	各症状が診断され、起炎菌が対象の菌と判断された症例数。

感染症診断基準

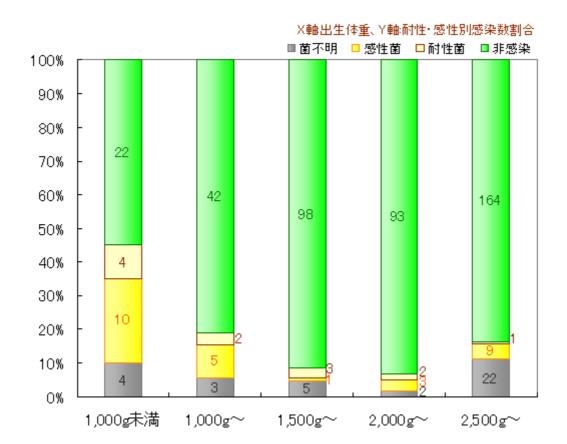


next 🗘

# 2007/03/15 JANIS 院内感染対策サーベイランス INTERPRETATION 部門

### 表4:菌耐性·感性別出生体重別感染数

[TOP] [1] [2] [3] [4]



	1,000g未満	1,000g ~	1,500g ~	2,000g ~	2,500g ~	合計
非感染	22	42	98	93	164	419
耐性菌	4	2	3	2	1	12
感性菌	10	5	1	3	9	28
菌不明	4	3	5	2	22	36

項目	内容
対象	NICUに入院した患者。出生体重の不明な患者は除く。
耐性菌	感染症と診断され、起炎菌が耐性菌と判断された症例数。
感性菌	感染症と診断され、起炎菌が感性菌と判断された症例数。
菌不明	感染症と診断され、起炎菌が明らかにできない症例数。 菌が同定できないものは菌不明とする

薬剤耐性菌判定基準

<br/>
chack